

寺町旧域（元京都市立春日小学校）の発掘調査

（公財）京都市埋蔵文化財研究所 モンペティ恭代

1 はじめに

この発掘調査は、寺町旧域に立地する御所東小学校校舎建設（元春日小学校内）に伴って行われた。調査面積は約 1,880㎡で平成 27 年 8 月から平成 28 年 3 月まで調査を実施した。

2 調査地の沿革

寺町は、安土・桃山時代に、豊臣秀吉による都市改造事業の一環で形成された区域である。天正 19 年（1591）に秀吉の命で、京都の中心部を囲む堀と土塁からなる「御土居」が巡らされた。この御土居内側東辺に、京内に散在していた寺院を集めて造営されたのが寺町である。江戸時代初期の絵図には、当地には「生蓮寺」や「専稱寺」の名がある。ところが、寺町は宝永 5 年（1708）の大火により大きな被害を受ける。文献史料からは、大火後、これらの寺院は鴨川の東岸に移転させられ、その跡地は宅地として利用され、18 世紀半ば以降は公家の「高辻家」の屋敷地となった。高辻家は明治維新に伴い東京へ転出、明治 10 年（1877）には跡地に番組小学校が移転、後には京都市立春日小学校となる。

3 調査の概要

調査では室町時代後期から江戸時代末期までの多数の遺構・遺物を検出した。これらは大きく 3 期に分かれⅠ期は寺町以前、Ⅱ期は寺院、Ⅲ期は公家屋敷となる。

Ⅰ期（16 世紀ごろ） 畑作と井戸を検出した。なお、これらの遺構を検出した層より下層は河川成層（砂礫）が厚く堆積し、それ以前の遺構は確認できなかった。この河川成層は鴨川の氾濫に伴う堆積であるが、平安時代の軒瓦などが出土した。これらの遺物は当地の北にあった藤原道長による創建の法成寺と関連するものと見られる。

Ⅱ期（16 世紀末期から 18 世紀初頭まで） 寺院に伴う堀跡・建物基壇・墓域・井戸などを検出した。特に、調査区南部で東西方向の堀を検出したことから、「生蓮寺」と「専稱寺」の境界を明確にすることができた。基壇は生蓮寺の本堂と考えられる。その北には 4 基のかまどがあり、これは庫裏に伴うものと考えられる。墓域が 3 箇所検出され、人骨・歯牙・漆器・銭貨・鉄釘などが出土した。人骨を鑑定したところ、1 箇所墓坑に複数体の人骨が入るものが多いことがわかった。多くの墓から 6 枚一組の銭が出土した。銭の年代や出土した墓石に刻まれた年号は、寺院の存続年代と重なる。寺院の遺構は宝永の大火後の整理層に覆われているが、一部に耕作地があった。

Ⅲ期（18 世紀半ばから 19 世紀半ばまで） 公家屋敷に伴う建物跡・園池・集水枡などを検出した。この公家屋敷の南側では町屋群を確認している。これらの遺構群は天明 8 年（1788）の大火と元治の大火（1864）で 2 度焼亡している。公家屋敷から出土する遺物には、儀式用の土器、禁裏注文品の椀やヨーロッパ製陶器、高価な文房具類、土製の臥牛像・狐像、ガラス製の髪飾りなどがある。これらの出土遺物は文章博士を生業とする高辻家の特徴をよく示す。食物残渣を同定したところ、内陸部にありながら海水産の魚の割合が高いことなどもわかった。

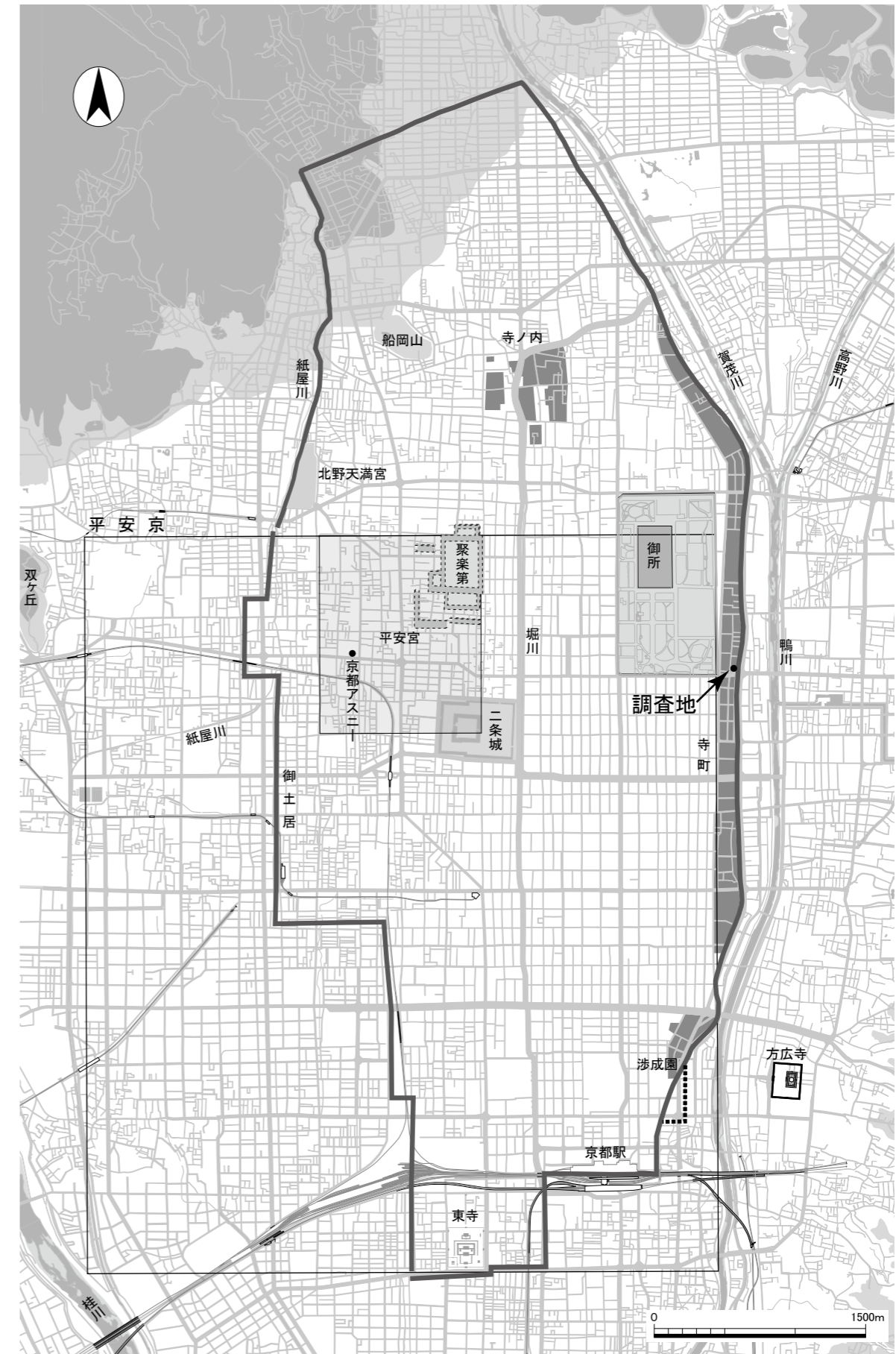


図 1 調査地点位置図



図2 調査位置図

現在の地図と『寛永十四年 洛中絵図』中井家旧蔵 宮内庁書陵部蔵を重ねた(1:2,500)

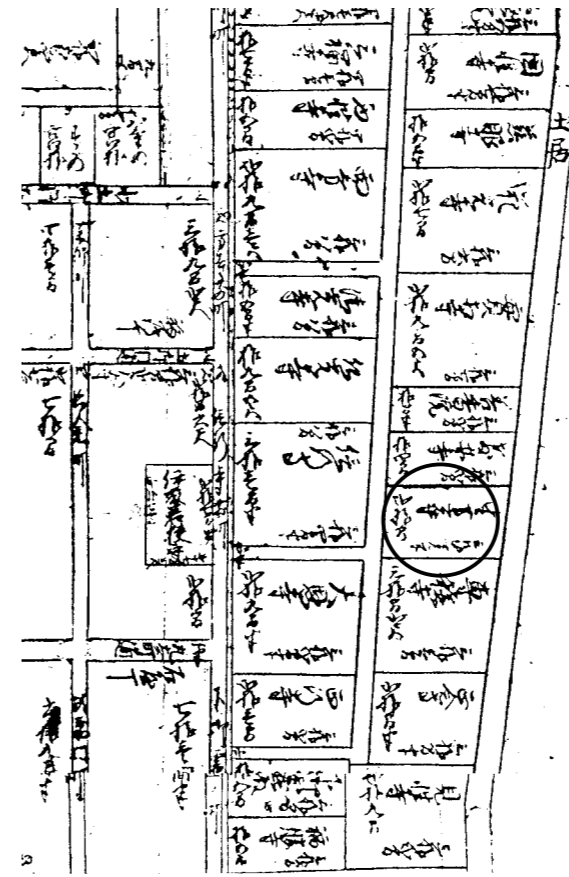


図3 『寛永十四年洛中絵図』(1637)

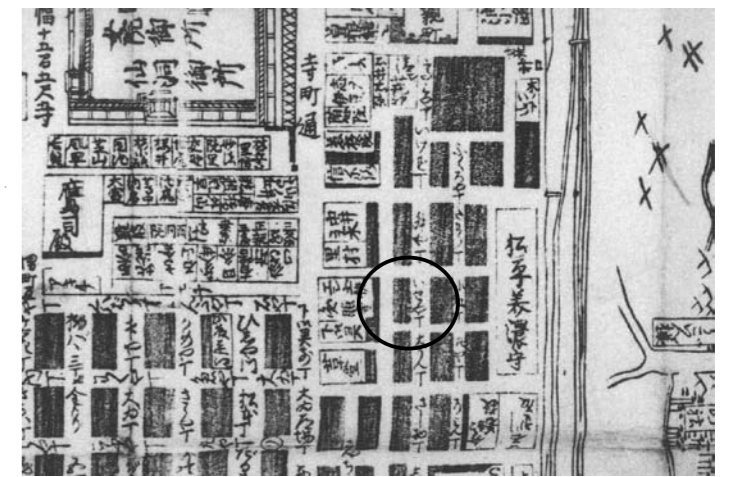


図4 新版増補京絵図新地入(部分)宝永六年(1637)



図5 増補再板京大絵図(部分)寛保元年(1741)

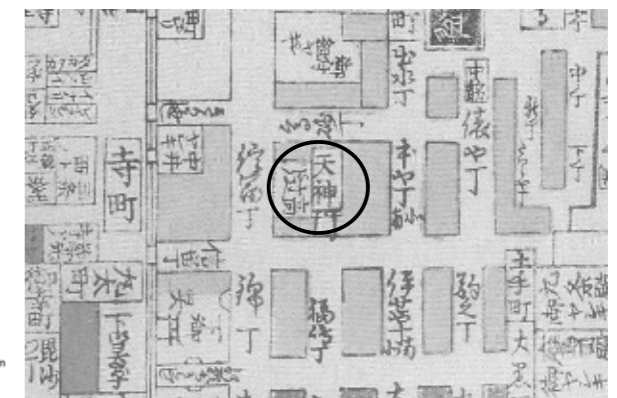


図6 京町御絵図(部分)明治2年(1869)

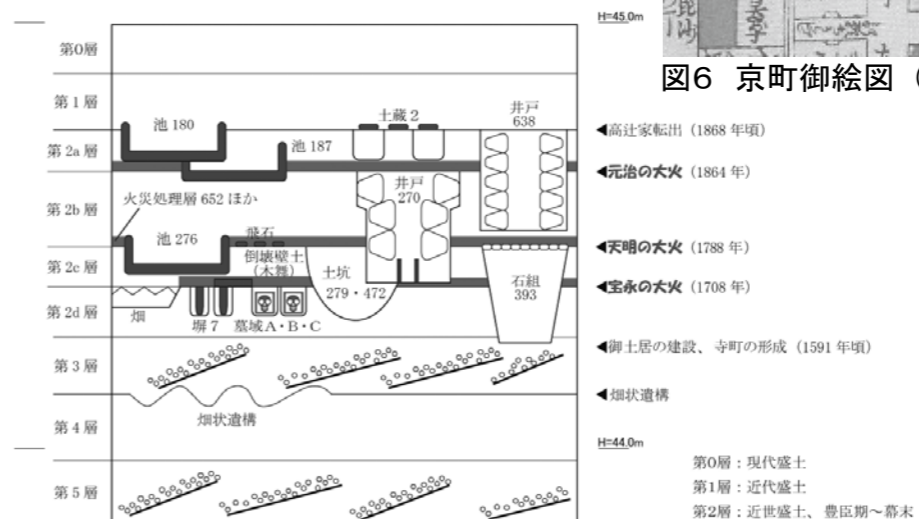
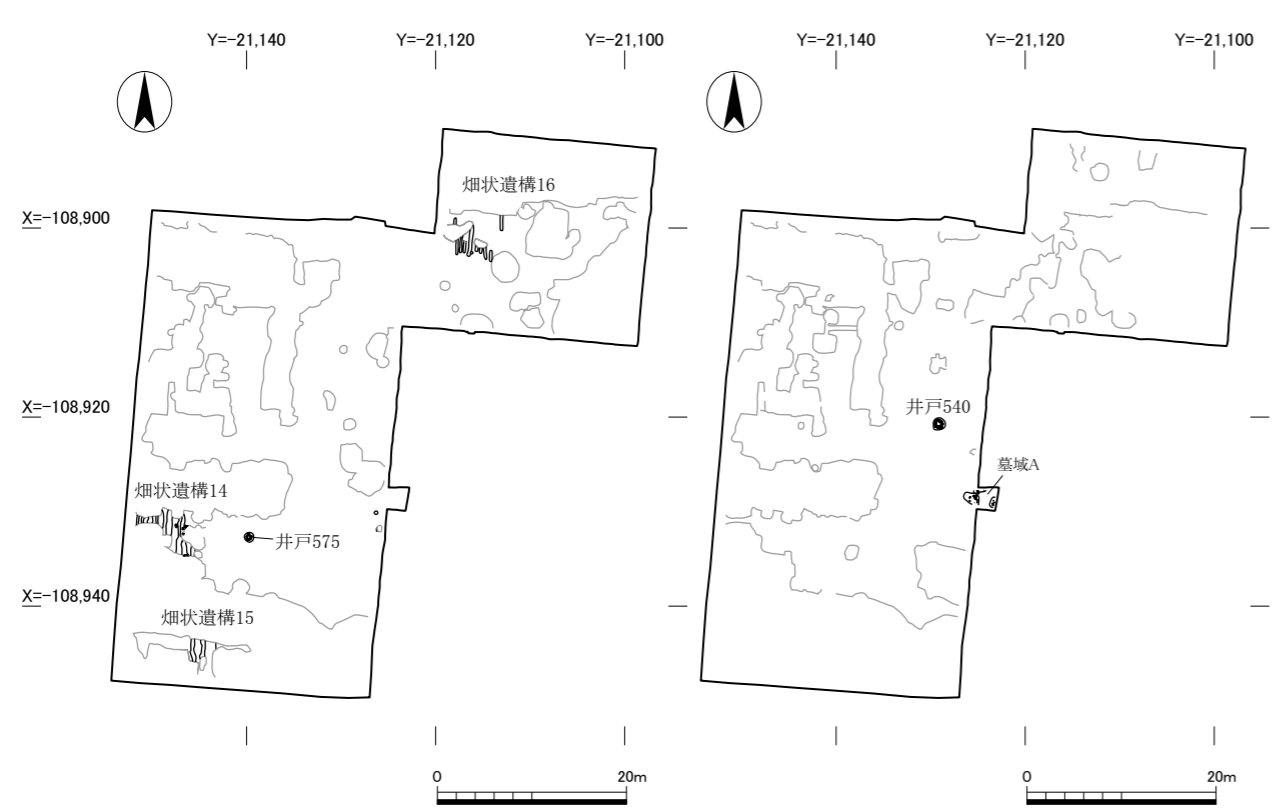
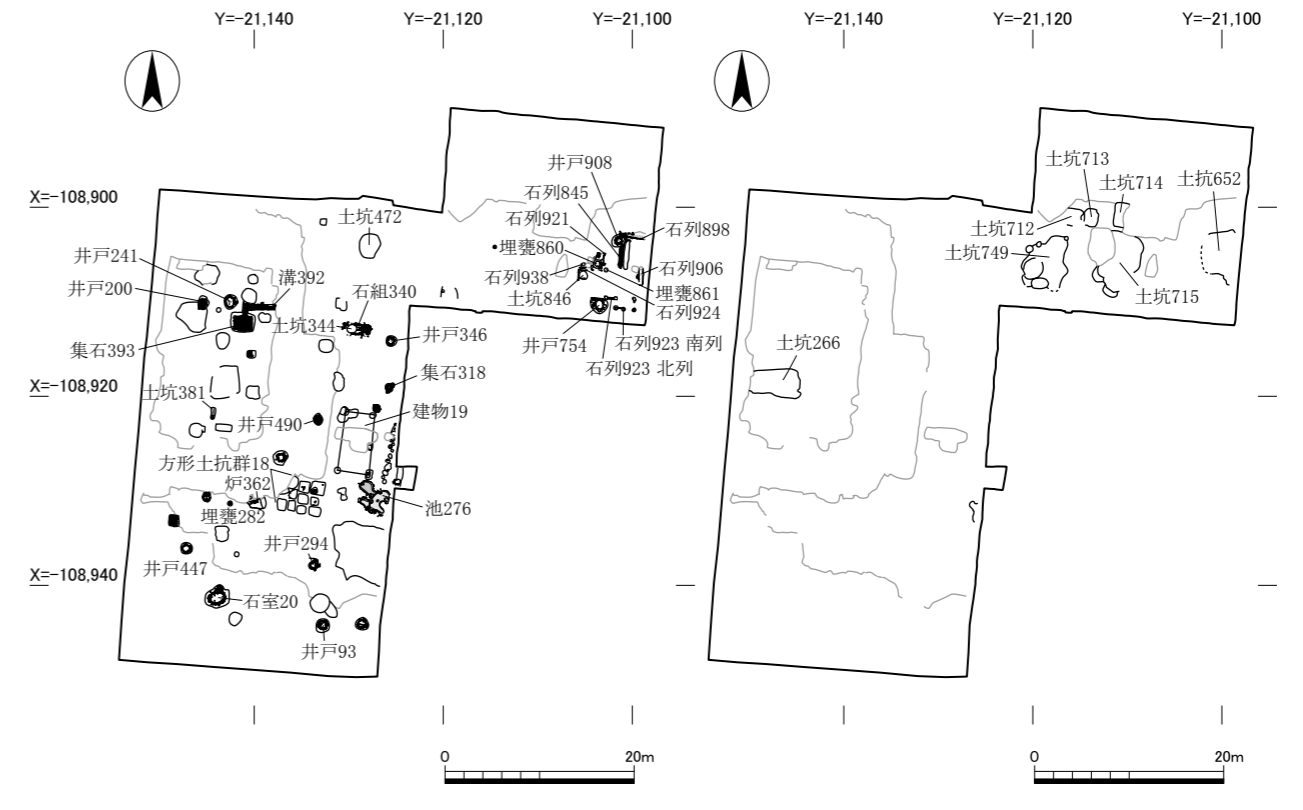


図7 土層模式図



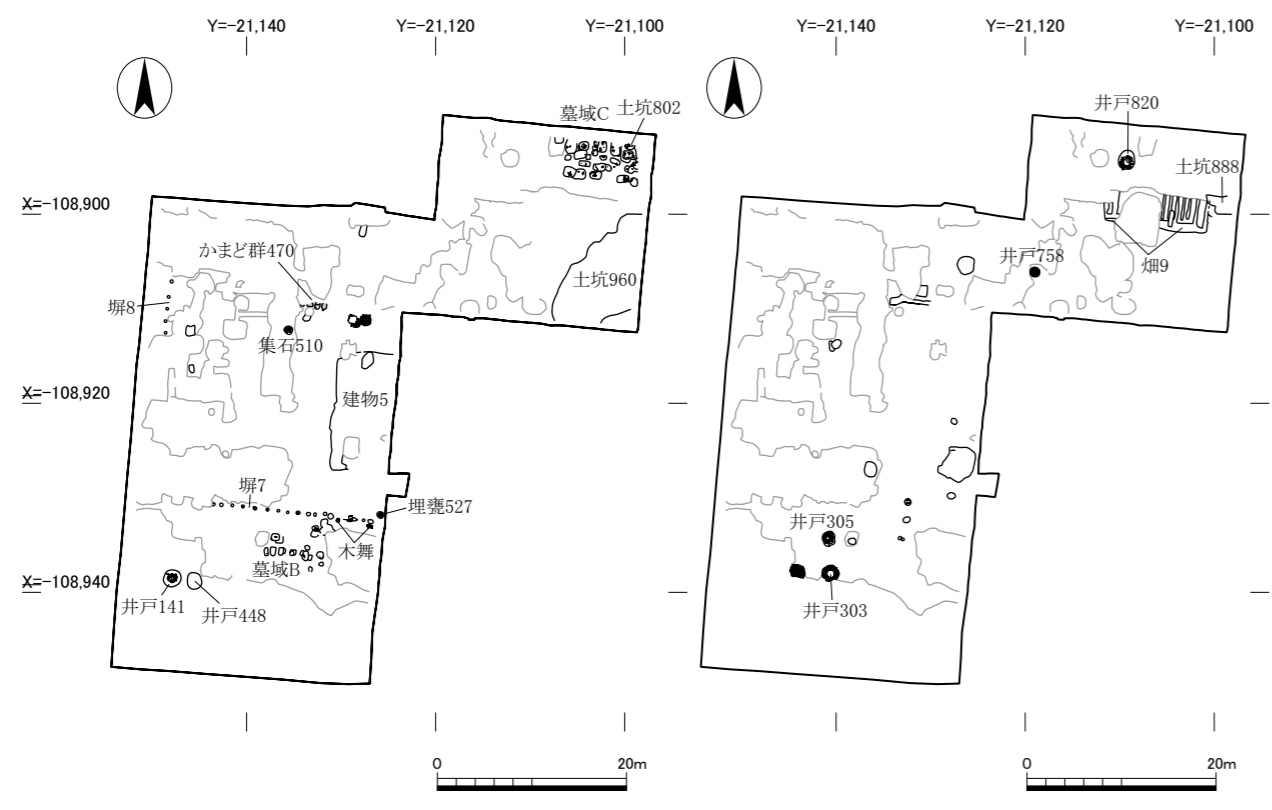
I 期の遺構
 <寺町以前>

II a期の遺構
 <寺町前期>



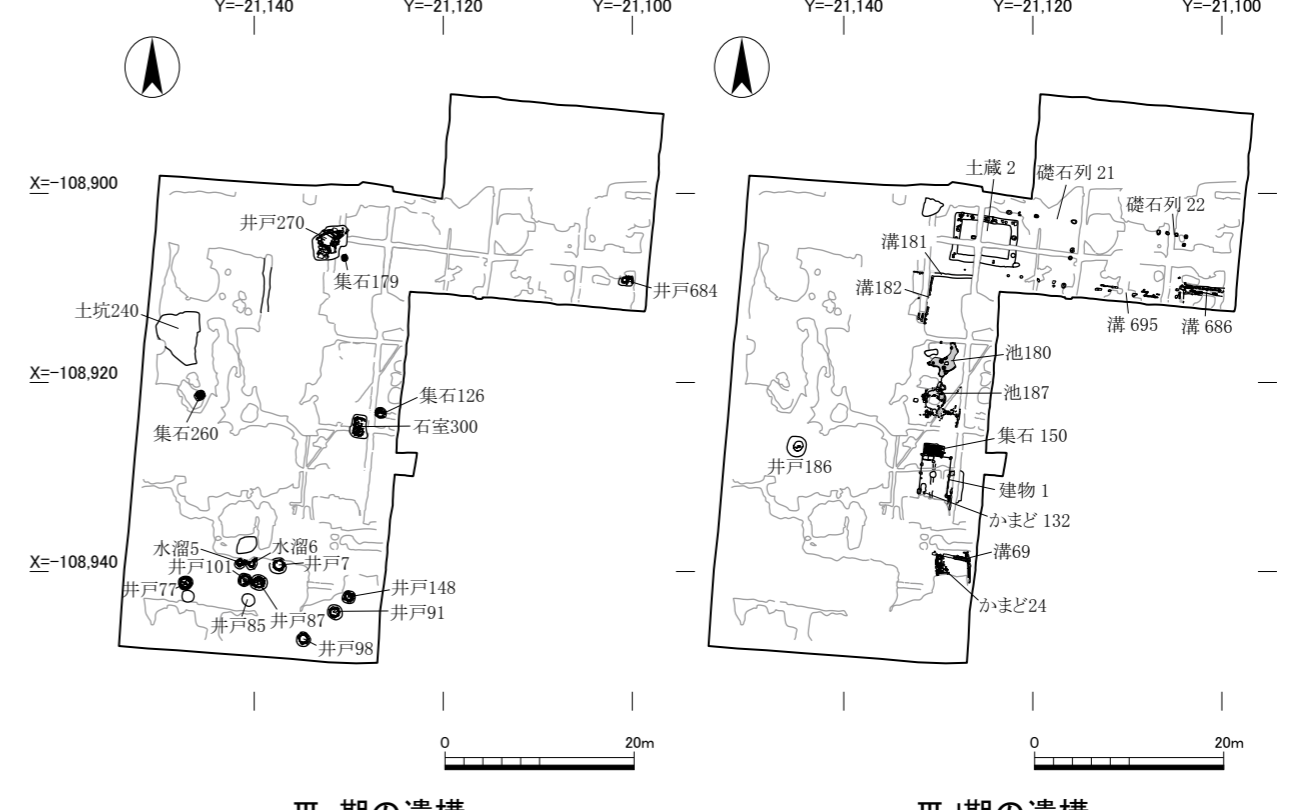
III a期の遺構
 <高辻家転入から天明の大火まで>

III b期の遺構
 <天明の大火の整理>



II b期の遺構
 <寺町後期 (宝永の大火まで)>

II c期の遺構
 <宝永の大火後から町屋形成まで>



III c期の遺構
 <天明の大火後から元治の大火まで>

III d期の遺構
 <元治の大火後から学校設立まで>

図8 遺構変遷図(1:800)

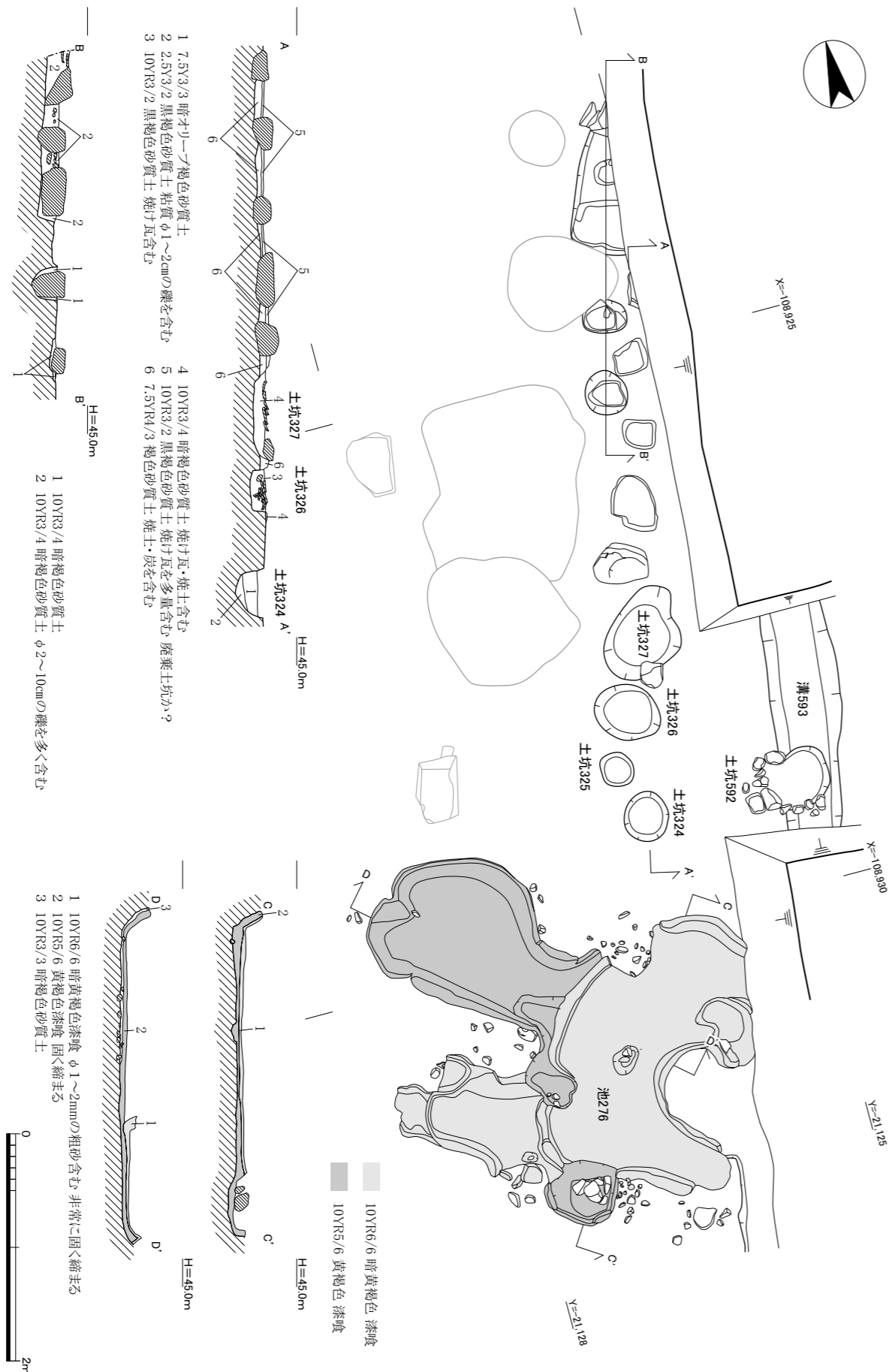


図9 池276と飛石実測図 (1:50)

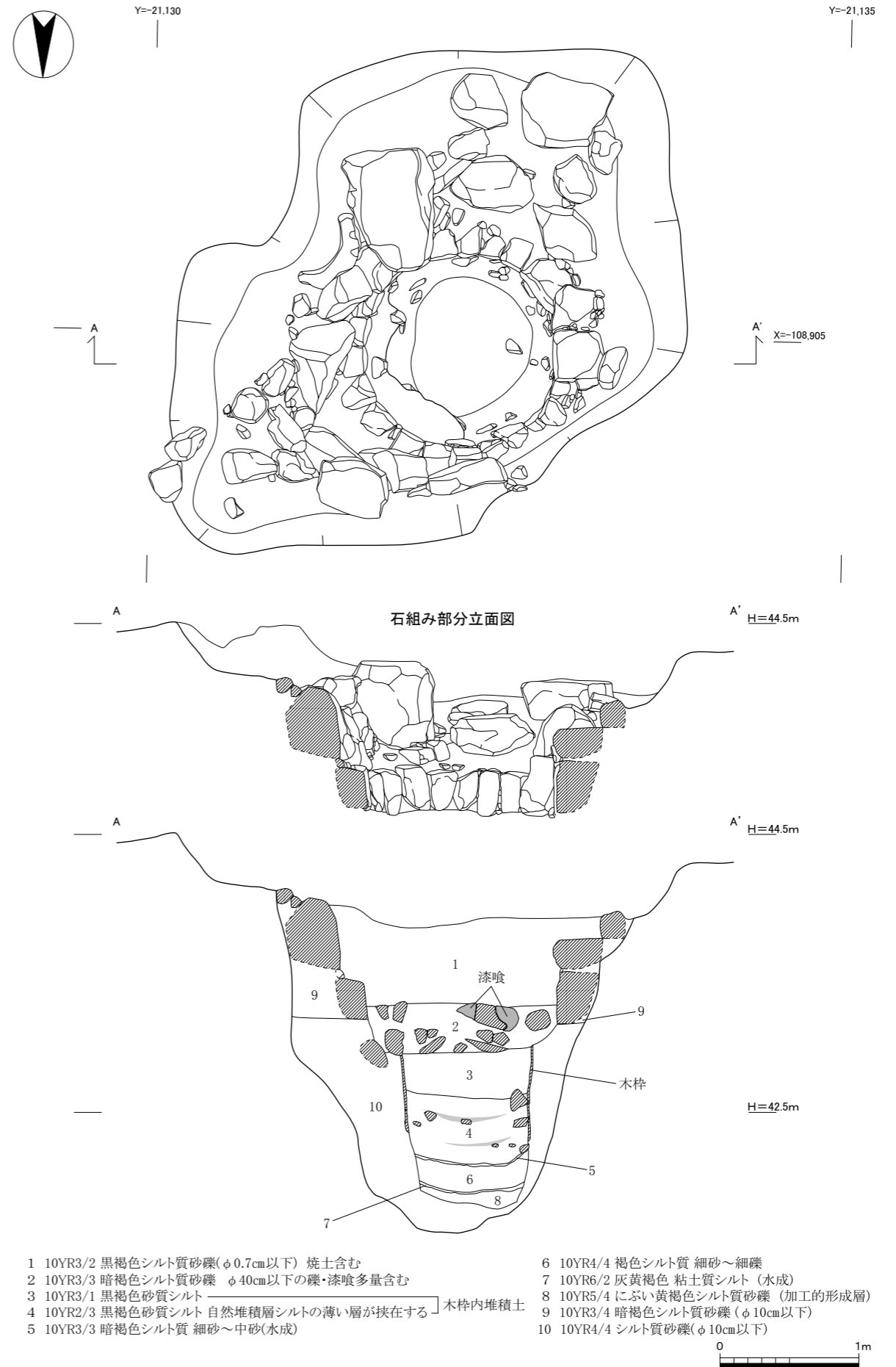


図10 井戸270実測図 (1:40)



写真1 1区第1面全景（北東から）



写真3 かまど群470（北東から）



写真2 2区第1面全景（西から）



写真4 墓域Bと塀7（東から）



写真5 池276と飛石(北西から)



写真7 石室300(北東から)



写真8 井戸346(北から)

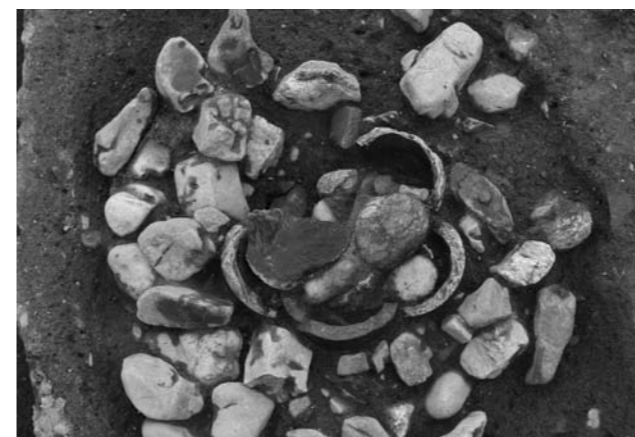


写真9 集石179(南から)



写真10 井戸93(南から)



写真6 建物1(北から)



写真11 井戸270(北から)



写真12 井戸270出土遺物



写真16 オランダ産陶器碗 井戸270出土



写真17 ヨーロッパ産陶器皿 井戸270出土



写真18 ヨーロッパ産陶器小杯 土坑240出土



写真19 タイ産耳付壺 土坑652出土



写真13 京焼香炉 井戸270出土

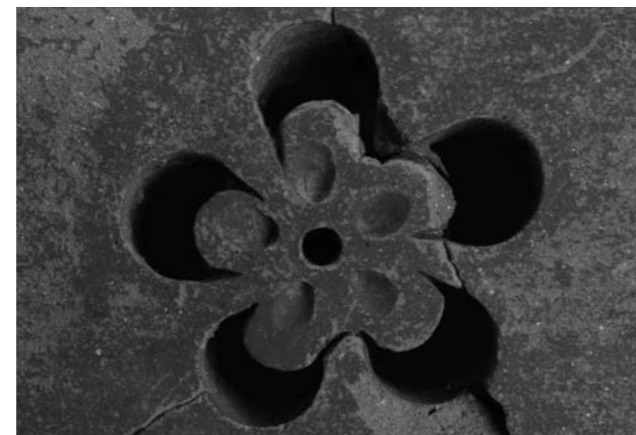


写真14 火鉢に施されたスカシ孔



表



裏

写真15 内ぐもりの土器 土坑652出土



写真20 鬼瓦 土坑749出土

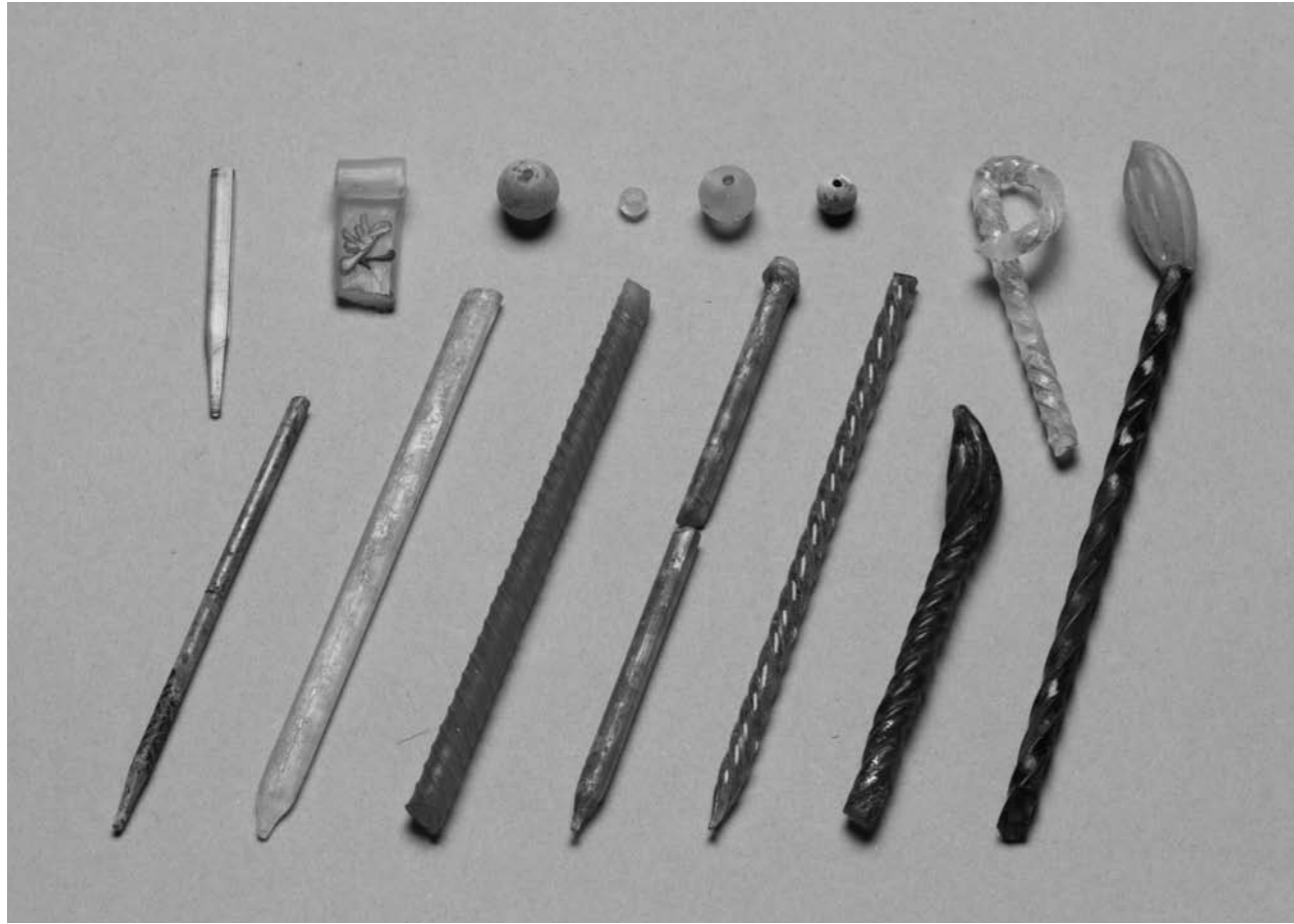


写真 21 出土ガラス製品



写真 23 出土貝類



写真 22 出土土製品



写真 24 出土脊椎動物遺存体